

第3次大阪府食育推進計画 令和4年度PDCA進捗管理票（案）

大阪府健康医療部健康推進室健康づくり課

1 健康的な食生活の実践と食に関する理解の促進

(1) 健康的な食生活の実践の促進 計画P31

【府民の行動目標】

▽生涯を通じて健やかな生活を送ることができるよう、栄養バランスのとれた食事、朝食や野菜摂取、食塩をとりすぎないこと、よく噛んで食べること、適正体重等の重要性を理解し、習慣的に実践します。

ライフステージに応じた健康行動	乳幼児期～学齢期	食べることを楽しみ、栄養・食の大切さを学び、成長段階に応じて望ましい食習慣を身につけます。
	青年期～成人期	自分のライフスタイルに合った健康的な食生活を実践します。生活習慣病の発症・重症化に留意し、健康的な食生活を実践・維持します。
	高齢期	低栄養予防等、個々の健康状態に合った食生活を実践し、食を通じて豊かな生活を実現します。

【取組みの目標】

	個別目標	計画策定時の状況	現在の状況	2023年度の目標	
1	栄養バランスのとれた食生活を実践する府民の割合の増加（主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている府民の割合）	34.6%（H28）	60.8%（R3）	50%以上	
2	朝食を欠食する府民の割合の減少 策定時：H25-27平均 現在：H29-R1平均	7～14歳	3.9%	5.1%	0%
		15～19歳	16.4%	14.5%	5%以下
		20～30歳代	25.2%	24.8%	15%以下
3	野菜摂取量の増加 策定時：H25-27平均 現在：H29-R1平均	7～14歳	223g	237g	300g以上
		15～19歳	216g	259g	350g以上
		20歳以上	269g	256g	350g以上

1：「お口の健康」と「食育」に関するアンケート（大阪府）/健康に関する意識調査（大阪府）（計画策定時/現在）

2・3：国民健康・栄養調査（厚生労働省）

個別目標		計画策定時の状況	現在の状況	2023年度の目標		
4	食塩摂取量の減少 策定時：H25-27平均 現在：H29-R1平均	20歳以上	9.4g	9.7g	8g未満	
5	よく噛んで食べることに気をつけている 府民の割合の増加		55.4% (H27)	65.5% (R3)	60%以上	
6	学校評価で食育を評価している小・中学校の割合の増加		60.3% (H28)	96.4% (R3)	100%	
7	ヘルシーメニューを提供 する飲食店・特定給食施 設等の増加	「うちのお店も健康づくり 応援団の店」協力店舗数	12,650店舗 (H28)	14,084店舗 (R5.2末)	13,500店舗	
		V.O.S.メニュー ロゴマーク使用 承認件数	飲食店等	20件 (H29)	429件 (R5.2末)	350件
			給食施設	—	336件 (R5.2末)	
8	誰かと一緒に食べる 「共食」の増加	朝食又は夕食等を家族と一緒に 食べる「共食」の回数	週10.7回 (H27)	週9.7回 (R3)	週11回以上	
		地域や職場等の所属コミュニ ティで共食したいと思う人が 共食する割合	77.6% (H28)	23.2% (R3)	80%以上	

4 国民健康・栄養調査（厚生労働省）

5 大阪版健康・栄養調査（大阪府）/健康に関する意識調査（大阪府）（計画策定時/現在）

6 大阪府教育庁調べ

7 大阪ヘルシー外食推進協議会調べ、大阪府健康医療部健康推進室調べ

8 家族共食 大阪版健康・栄養調査（大阪府）/健康に関する意識調査（大阪府）（計画策定時/現在）

地域共食 「お口の健康」と「食育」に関するアンケート（大阪府）/健康に関する意識調査（大阪府）（計画策定時/現在）

【現状と課題】

- ▽府民一人ひとりが、健康的な食生活を実践できるよう、ライフステージ別の課題に応じた取組みが必要です。
- ▽よく噛んで食べるためには、歯を残すことが重要であり、歯と口の健康づくりを進めることが必要です。
- ▽男性に対しては肥満予防の対策、若い世代の女性に対しては健康的な体格についての理解を深める取組みが必要です。
- ▽小・中学校等において、食育がより効果的な取組みとなるよう、取組み内容・方法の工夫・改善が必要です。
- ▽外食・中食を利用して栄養バランスのとれた食生活を実践できるよう、外食・流通産業等と連携した取組みの強化が必要です。
- ▽家庭だけでなく、地域での共食を推進していくことが必要です。

【具体的な取組み】

①家庭での健康的な食生活の実践を促す取組み P31

本年度評価
概ね予定
どおり

<p>本年度の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「早寝早起き朝ごはん」推進校事業の活動内容を周知 ■ 家庭での実践に向けた情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・ 府健康アプリ「アスマイル」で、朝食や野菜、共食等、食に関する健康コラムを配信（11回） ・ 府ホームページ「みんなでV.O.S.を始めよう！」で、家庭でできるV.O.S.レシピを掲載（38メニュー） ・ 株式会社エプリー：レシピ動画メディア「デリッシュキッチン」でV.O.S.紹介記事掲載 ・ 大阪いずみ市民生協：宅配食材セットのV.O.S.承認19商品（R4新規）
<p>今後の取組予定</p>	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 全く朝食をとらない児童生徒への対応 ■ 家庭における共食に関する効果的な啓発 <p>《次年度の主な取組み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 保護者や児童生徒への情報発信及び指導の好事例の収集・発信 ■ 共食にかかる啓発媒体の作成・活用、府健康アプリ「アスマイル」を活用した情報発信
<p>最終予算 (主要事業)</p>	<p>健康・栄養対策費 5,869千円</p>

②多様な暮らしに対応した豊かな食体験につながる取組み P32

本年度評価
概ね予定
どおり

<p>本年度の取組</p>	<p>《地域等での共食の推進》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 大阪府栄養士会等による子ども料理教室の開催（1回） ■ 子ども食堂など居場所の整備を行う市町村を支援 新子育て支援交付金の優先配分枠に、居場所づくり事業を位置づけ <p>《身近な地域で相談できる体制の推進》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 大阪府栄養士会と連携し、栄養ケアサービスを提供する拠点を整備 登録栄養士数226名、大阪府栄養士会による無料栄養相談の実施（19回） 日本栄養士会認定栄養ケア・ステーション21団体、大阪府栄養士会登録栄養ケアチーム15団体
<p>今後の取組予定</p>	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 市町村及び関係団体と連携した共食の推進 ■ 栄養ケアサービスを提供する拠点の活用 <p>《次年度の主な取組み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 健診やイベント等の機会を活用し、共食を広く府民に啓発 ■ 在宅栄養ケアに関する医師会・栄養士会等関係機関との連携推進
<p>最終予算 (主要事業)</p>	<p>健康・栄養対策費 5,869千円（再掲）</p>

③食品関連事業者等との連携による健康的な食生活の実践を促す取組み P32

本年度評価
概ね予定
どおり

<p>本年度の 取組</p>	<p>《<u>外食や中食、給食施設における取組み</u>》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■大阪ヘルシー外食推進協議会と連携した取組み ヘルシー外食コンテスト2022の実施 募集期間 R4.8.17-10.4、応募数33メニュー 審査状況 ウェブによる人気投票（R4.11.1-12.10 2,191名の投票） 及び協議会関係者による書類審査 表彰式 イベント「フードスタイル関西」の会場にて実施（R5.1.25） ■企業と連携した取組み <ul style="list-style-type: none"> ・ほっかほっか亭総本部、すかいらーくグループ、セブンイレブンジャパン ：企業単位で「うちのお店も健康づくり応援団の店」に登録。新規店舗を追加承認 ・阪急百貨店：冷凍総菜をV.O.S.メニューに追加承認（9メニュー） ■給食施設と連携した取組み 大学と連携し、学生食堂メニューをV.O.S.に承認 大手前大学1メニュー・近畿大学6メニュー・大阪工業大学1メニュー・大阪青山大学1メニュー ■地域に根差したV.O.S.の普及啓発 「食べて元気に！VO.S.&野菜たっぷりキャンペーン」の実施（4保健所） ■特定給食講演会の開催 方法 大阪府公式YouTubeチャンネルでの限定公開（R4.11.21-12.23） 内容 講演「日本食品標準成分表2020年版（八訂）」について、情報提供 再生回数 3,813回 <p>《<u>SNS等を活用した情報発信</u>》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■若い世代に向けた食に関する情報発信 健活Twitter56回・おおさか食育通信Facebook84回・もずやんTwitter2回 ■V.O.S.の実践を促す情報発信 府ホームページにおいてV.O.S.が食べられるお店や、政令中核市が承認するヘルシーなお店の情報を掲載 <p>《<u>健康づくりに役立つ食品表示の活用を促す取組み</u>》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■大阪府消費者フェア2022での啓発 動画にて食品表示の活用を啓発 R4.11.5-12.9 府民4,178名参加（web配信閲覧者数） 	<p>R4 V.O.S.新規承認数 483 ・V.O.S.メニュー 162 ・プレV.O.S. 321</p>
<p>今後の 取組予定</p>	<p>《<u>課題</u>》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「うちのお店も健康づくり応援団の店」及びV.O.S.の拡大及び認知度向上 <p>《<u>次年度の主な取組み</u>》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■波及効果の高い飲食店等と連携した事業推進 ■啓発媒体を活用した協力店舗（施設）の獲得と店頭（施設）での府民啓発 	
<p>最終予算 (主要事業)</p>	<p>健康・栄養対策費 5,869千円（再掲）</p>	

④ ライフステージに応じた取組み P33

本年度評価
概ね予定
どおり

<p>本年度の 取組</p>	<p>《保育所・認定こども園・幼稚園における取組み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 児童福祉施設研修会（食事提供関係）の開催 食育に関する講演及び実践報告 大阪府公式YouTubeチャンネルによる動画配信（R4.12.18-R5.2.18 視聴回数 延べ2,522回） <p>《小・中学校等における取組み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 食育の普及啓発に向けた教職員対象研修の開催 大阪府栄養教諭連絡協議会、学校給食・食育研究協議会、学校給食に関する管理職研修会 等 ■ 家庭と連携した食育の推進 給食だよりや食育通信等で保護者や児童生徒へ啓発した好事例を紹介 <p>《高等学校等における取組み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 保健所が高校と連携して作成した食育プログラムを府ホームページに掲載（11事例） <p>《大学や職場等における取組み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 近畿大学と連携した栄養・食生活関連イベントの実施 学生51名が参加。V.O.S.の調理実演・試食を実施 ■ 管理栄養士養成施設と連携し、若い世代の食生活改善に向けた事業企画、啓発媒体作成（9保健所） ■ 食生活の取組みを含め、積極的に健康づくり活動を行う企業・団体を表彰する「健康づくりアワード」の実施 ■ 商工会議所における集団健診の場を活用し、生活習慣病予防を啓発（2保健所） <p>《高齢者の低栄養予防のための取組み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 高齢者の食支援を行う関係機関の育成を目的とした研修会の開催（2保健所） ■ 高齢者への食支援を目的とした配食事業者の実態把握、市町村及び関係機関との共有（5保健所）
<p>今後の 取組予定</p>	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 動画配信による研修会の参加者意見の把握、評価 ■ より多くの学校で実施できる実践内容の収集と発信 ■ 高等学校における主体的かつ継続的な食育の推進 <p>《次年度の主な取組み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 電子申請システムによるアンケートの回収率を上げる手法を検討 ■ 他県の好事例も参考に、研修内容を精査し、質の向上を目指す ■ 特定給食施設等指導を利用者の健康づくりにつなげ、大学生のヘルスリテラシー向上を目的に実施する ■ 健康キャンパス・プロジェクトや、表彰事業の活用等により、職場等における食育の取組みを支援
<p>最終予算 (主要事業)</p>	<p>健康・栄養対策費 5,869千円（再掲） 健活会議関連推進事業 3,813千円</p>

⑤ 歯と口の健康づくりの取組み P34

本年度評価
概ね予定
どおり

本年度の 取組

- 《歯と口の健康に係る普及啓発》
- 府ホームページや啓発資材等を活用した普及啓発
 - ・府ホームページを通じた歯と口の健康に関する情報発信
 - ・歯と口の健康づくり小読本の配布
 - ・公民連携の枠組みを活用した普及啓発（企業広報ツール・健康イベントでの連携）
 - ・府健康アプリ「アスマイル」を活用した普及啓発（歯磨きや健診受診、健康づくりイベントへの参加等に対するインセンティブ付与、健康コラムに歯と口の話題掲載）
 - 大阪府歯科口腔保健推進研修会の実施「歯科口腔保健における行動変容のための行動科学について」
 - 「口腔保健支援センター」による市町村支援
 - 歯科医療サービス提供困難者への歯科保健医療推進事業
 - 障がい者施設職員のための口腔スクリーニングツールの作成、研修会を開催（2医療圏）
 - 8020運動特別推進事業（8020推進アンバサダー養成事業）
 - 地域で活動する保健医療関係者のためのガイドラインと啓発資料の作成、研修会を開催（1医療圏で2回実施）
 - 在宅療養者経口摂取支援チーム育成事業
 - 摂食嚥下障害時に対応可能な歯科医師と歯科衛生士からなるチームを育成（13チーム）
 - 新しい生活様式に対応した口腔保健指導推進事業
 - 口の機能の維持・向上を図るための動画教材とリーフレットを作成し、デイサービス施設職員向け研修を実施（16地域で実施）

今後の 取組予定

- 《課題等》
- ホームページを閲覧しない府民に対する働きかけ
 - 歯科保健の推進にかかる多職種との連携
 - 高齢者や障がい者施設職員等に対する研修参加の働きかけ
- 《次年度の主な取組み》
- 府健康アプリ「アスマイル」、府の広報媒体、公民連携の枠組みを活用し、幅広い世代の府民への啓発
 - 地域の多職種と連携して在宅療養者の経口摂取支援を行う歯科医師・歯科衛生士の育成
 - 介護者に対する啓発・人材育成
 - 多職種と連携した歯科保健の取組みの推進

最終予算 (主要事業)

生涯歯科保健推進事業 1,777千円 大阪府歯科口腔保健計画推進事業 5,042千円
 8020運動推進特別事業 2,041千円 歯科保健医療サービス提供困難者への歯科保健医療推進事業 2,137千円
 在宅療養者経口摂取支援チーム育成事業 3,210千円 障がい者歯科診療センター運営委託事業 23,968千円
 新しい生活様式に対応した口腔保健指導推進事業 6,058千円

(2) 食の安全安心の取組み 計画P41

【府民の行動目標】

▽食品の選び方や適切な調理・保管の方法等、食の安全安心に関する基礎的な知識を学び、その知識を踏まえて行動します。

応じた健康行動 ライフステージに	乳幼児期～学齢期	食の安全安心に関する正しい食習慣を身につけます。
	青年期～成人期	食の安全安心に関する知識と理解を深め、日常生活の中で実践します。
	高齢期	食の安全安心に関する知識と理解を深め、日常生活の中で実践するとともに、次世代に伝えます。

【取組みの目標】

	個別目標	計画策定時の状況	現在の状況	2023年度の目標
1	大阪府食の安全安心メールマガジンによる情報提供（総配信数）の増加	130万件 (H28)	97万件 (R4.12末)	230万件

1 大阪府健康医療部生活衛生室食の安全推進課調べ

【現状と課題】

- ▽流通している食品について、偽装表示や輸入食品の安全性、食品添加物の不適正使用等の理由で不安を感じる府民を減らしていくために、食の安全安心に対する取組みの推進が必要です。
- ▽インターネット等で食に関する情報が溢れている中、食の安全安心に関する情報を適切にわかりやすく提供することや、府民一人ひとりが、正しい情報を選択する力を身につけ、安全安心な食生活を実践することが必要です。

【具体的な取組み】

本年度評価
概ね予定
どおり

本年度の 取組

- 《正確でわかりやすい食の安全安心に関する情報の提供》
- メールマガジンやTwitter等で食の安全安心に関する情報を配信
メールマガジン延べ97万件、大阪府公式Twitter27回配信
- 大阪府食の安全安心推進協議会情報発信評価検証部会にて、ホームページやメールマガジンの他、Twitterを使用した情報提供の実施状況と小中学生向け食中毒予防出前授業等の評価と検証を実施
- 《食の安全安心について学べる機会の提供》
- 消費者に対して、食品衛生講習会等を実施（48回630名）
- 乳幼児、小児、児童、生徒やその保護者に講習等による啓発を実施（高校生1回 参加者35名）
- 生き物が食べ物になるまでの過程を知る食中毒予防・残食減少・命について考える出前授業を実施
教員研修1回、中学校1回 計129名
- 《食肉の生食による食中毒の予防啓発》
- 監視業務を通じ、事業者に食肉の十分な加熱について指導、食中毒予防ポスターの掲示やリーフレット配布
- 《食品表示に関する基礎的知識の普及》
- 大阪府消費者フェア2022で動画等を用いた食品表示等に関する啓発を実施
R4.11.5-12.9 府民4,178名参加（web配信閲覧者数）
- 《リスクコミュニケーションの促進》
- 食の安全安心シンポジウムの開催
「食品中の放射性物質のこれからを考える」（R4.12.14）（厚生労働省・消費者庁等主催、大阪府共催）
「食物アレルギーについて考えよう」（R5.2.14）（大阪府主催）
- 様々な手法でのリスクコミュニケーションの実施
大阪府食の安全安心推進計画の改定にあたり、食の安全安心の確保に関する府の取組みについて、消費者団体との意見交換を実施

今後の 取組予定

- 《課題》
- メールマガジンやTwitter等で発信した食の安全安心に関する情報に対する府民の反応確認等より具体的な効果の検証
- 食の安全性に対する知識について、対象者の年齢等に合わせたより理解しやすい学習内容の検討
- 《次年度の主な取組み》
- 府民に対する効果的効率的な啓発方法の検討、実施
- 日常生活で実践できる授業内容の検討、実施
- ウェブ視聴等のオンラインツールを活用したリスクコミュニケーションの検討、実施

最終予算 (主要事業)

食中毒予防対策事業費 1,292千円
食品表示適正化推進事業 7,554千円
リスクコミュニケーション推進事業費 158千円

(3) 生産から消費までを通した食育の推進 計画P45

【府民の行動目標】

▽生産から消費に至る食の循環を意識し、大阪でとれる農林水産物等を積極的に利用するとともに、食品ロスの削減に主体的に取り組み、地域や家庭で受け継がれてきた郷土料理、伝統食材等の食文化を次世代に伝えます。

ライフステージに 応じた健康行動	項目	地産地消	食品ロス	食文化
	乳幼児期～学齢期	大阪産（もん）について学びます。	食べ物を大切にする感謝の心を学びます。	地域や家庭で受け継がれてきた食文化を学びます。
	青年期～成人期	大阪産（もん）に触れる機会に参加し、積極的に利用します。	食品ロスの現状や削減の必要性について認識を深め、食品ロスの削減に主体的に取り組みます。	地域や家庭で受け継がれてきた食文化に関心を持ち、日々の食事に取り入れるよう心がけます。
	高齢期			地域や家庭で受け継がれてきた食文化や食に対する感謝の気持ちの大切さを次世代に伝えます。

【取組みの目標】

	個別目標	計画策定時の状況	現在の状況	2023年度の目標
1	大阪産（もん）を購入できる販売店や料理店の増加（大阪産（もん）ロゴマーク使用許可件数）	385件（H28）	663件（R4.12末）	530件
2	郷土料理等の地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかい等の食べ方・作法を継承し、伝えている府民の割合の増加	21.9%（H28）	14.4%（R3）	30%以上

1 大阪府環境農林水産部流通対策室調べ

2 「お口の健康」と「食育」に関するアンケート（大阪府）/健康に関する意識調査（大阪府）（計画策定時/現在）

【現状と課題】

- ▽府民が身近に生産から消費まで体験できる機会づくりを進めることが必要です。
- ▽大阪産（もん）を実際に手にし、購入できる販売店や料理店等を増やし、地産地消、消費拡大を図ることが必要です。
- ▽府民一人ひとりが食への感謝の気持ちを深めるとともに、食品ロスの現状や削減の必要性についても認識を深め、食品ロスの削減に主体的に取り組むことが必要です。
- ▽伝統的な食文化に関する府民の関心と理解を深め、次世代に伝えていく取組みが必要です。

【具体的な取組み】

①地産地消の推進 P45

本年度評価
概ね予定
どおり

<p>本年度の 取組</p>	<p>《<u>食の生産・流通に関する体験・交流の促進</u>》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■直売所で開設支援に係るチラシを作成・配布、開催する販売イベント等についてFacebookで情報発信 ■出前魚講習会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・府企画室推進課、阪南市役所と連携し、阪南市立上荘小学校にてSDGs 出前講座(大阪湾のお魚と漁業)を実施 ・大阪城南女子短期大学総合保育学科にて出前魚講習会(魚の三枚おろし)を開催 ■地場産物を活用した食育教材ポータルサイトの作成 <ul style="list-style-type: none"> 各市町村で実践された地場産物を活用した食育教材を収集し、多くの学校で活用できるように活用例とともにウェブサイトに掲載 <p>《<u>大阪産農水産物の利用促進及び消費拡大</u>》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■大阪産(もん)を購入できる販売店や料理店等の拡大 663件(R4.12末) ■大阪産(もん)のPRと利用促進のため、ホームページ、大阪産(もん) Facebook、大阪産(もん) Twitter 大阪産(もん) ファン通信、イベント等を活用した情報発信 ■市町村や民間団体等が実施する地産地消、食文化継承等の食育活動への補助 (事業実施主体者6者、新型コロナウイルス感染症の影響により1者が中止) ■「大阪の魚と漁業を10倍楽しむ本」「大阪の畜産ええもんBOOK」等を活用した情報発信 <p>《<u>大阪産農林水産物を府民が身近に触れられる場の情報発信</u>》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■府内の朝市・直売所、農業体験農園(もぎとり園)及び農に親しむ施設について、府のホームページに掲載 ■魚庭の大漁旗デザインコンクールの開催 <ul style="list-style-type: none"> 大阪湾に対する関心を高めるため、小学生を対象に実施 応募総数197作品 ■魚庭の海づくり大会の開催(R4.10.23) 来場者約10,000人
<p>今後の 取組予定</p>	<p>《<u>課題</u>》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■コロナ禍における体験の場の提供、イベントの開催 <p>《<u>次年度の主な取組み</u>》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■出前講習会の開催 ■大阪産(もん)の店舗での利用拡大 ■イベント等の機会を活用した府内畜産物の認知度向上と魅力発信
<p>最終予算 (主要事業)</p>	<p>大阪産(もん)グローバルブランド化促進事業費 90,079千円</p>

②食品ロスの削減 P46

本年度評価
概ね予定
どおり

<p>本年度の 取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■「食品ロス削減ワーキングチーム」関係部局等との連携により、担当部局で保育所・学校等での食育、イベント等の体験活動を通じた食品ロスへの理解促進 ■「もったいないやんへらそう食品ロス」ポータルサイトを活用し、次代まで食品ロス削減を実践・啓発するボランティア「もったいないやん活動隊」の募集、養成講座の実施 ■「大阪府食品ロス削減推進計画」に基づく市町村や事業者と連携した普及啓発の取組みを推進 ■府食ロス計画に基づき、事業者と連携した普及啓発の取組みを推進するため、事業者、消費者、学識経験者等で構成する「食品ロス削減ネットワーク懇話会」を開催
<p>今後の 取組予定</p>	<p>《次年度の主な取組み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■地域で普及啓発活動を推進するため、食品ロス削減ポータルサイトを積極的に活用し、食品ロス削減について発信・啓発できる人材を育成 ■「もったいないやん活動隊」を育成し、啓発機会を創出
<p>最終予算 (主要事業)</p>	<p>消費者行動促進支援事業 3,020千円</p>

③食文化の継承 P46

<p>本年度の 取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■全国学校給食週間での取組み実施 市町村及び府立学校で地域の食材や郷土料理等を取り入れた給食献立を実施 ■食育の日（毎月19日）での取組み実施 給食献立の工夫 ■大阪府食生活改善連絡協議会との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・協議会が行う日本型食生活の普及啓発活動への支援 ・魚庭の海づくり大会（R4.10.23）において、郷土食冊子を配付 200部
<p>今後の 取組予定</p>	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■関係団体の取組把握、連携強化 <p>《次年度の主な取組み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■好事例を共有し、地域の食材や郷土料理を取り入れた給食献立を実施 ■地場産物を活用した食育教材ポータルサイトの啓発 ■食文化の継承に向け、SNS等を活用した情報発信を行うとともに、関係団体の取組みを支援
<p>最終予算 (主要事業)</p>	<p>健康・栄養対策費 5,869千円（再掲）</p>

2 食育を支える社会環境整備

(1) 多様な主体による食育推進運動の展開 計画P51

【取組みの目標】

	個別目標	計画策定時の状況	現在の状況	2023年度の目標
1	食育に関心を持っている府民の割合の増加	54.4% (H28)	58.9% (R3)	70%以上
2	食育推進計画を策定・実施している市町村の割合の増加	93.0% (H29)	95.3% (R4)	100%
3	食育推進に携わるボランティアの増加	5,622人 (H28)	4,753人 (R3)	増加

1 「お口の健康」と「食育」に関するアンケート（大阪府）/健康に関する意識調査（大阪府）（計画策定時/現在）

2 大阪府健康医療部健康推進室調べ

3 大阪府健康医療部健康推進室調べ

【具体的な取組み】

本年度評価
概ね予定
どおり

本年度の 取組

- 《食育を府民運動とする機運を高める取組み》
- SNSを活用した食育に関する情報発信
健活Twitter56回・おおさか食育通信Facebook84回・もずやんTwitter2回
- 《「大阪府食育推進強化月間」及び「野菜バリバリ朝食モリモリ推進の日」の取組みの充実》
- 府健康アプリ「アスマイル」を活用した食育に関する情報発信
大阪府食育推進強化月間及び各月の食育の日に食生活の改善を促すコラムを配信（11回）
 - 企業連携による啓発
 - ・味の素：メニューブックに大阪府市からのメッセージ、V.O.S.レシピを掲載し関係店舗にて啓発
 - ・キューピー：H2Oホールディングスの協力により、阪急オアシス吹田SST店の店内イベントにて、同社商品を使ったV.O.S.レシピを実演紹介
 - ・ほっかほっか亭総本部のデジタルサイネージを活用した食育の啓発
 - 市町村広報に記事掲載
保健所管内市町の8月広報にV.O.S.メニュー啓発記事を掲載（1保健所）
- 《市町村食育推進計画の策定促進と施策の推進》
- 保健所での取組み
 - ・市町村に対し、計画の策定及び改定を支援
 - ・市町村栄養事業担当者連絡会議の開催
 - ・地域の優先的な課題の把握、地域の特性を踏まえた取組みを推進する仕組みづくりを検討
- 《食に関するボランティア等が行う食育活動への支援》
- 食生活改善推進員リーダー研修会の開催（R5.2.17）
食生活改善推進員及び行政関係者 55名参加
 - 保健所での取組み
 - ・地域活動栄養士会や食生活改善推進協議会の支援
 - ・養成施設と連携した地域での食育活動の検討

今後の 取組予定

- 《課題》
- 関係機関、団体による取組みの活性化
- 《次年度の主な取組み》
- 市町村に向けて、食育の取組みの充実を図れるよう、情報提供や技術的支援を実施
 - 関係機関・団体による取組みを支援するとともに、各団体の連携・協働を推進

最終予算 (主要事業)

健康・栄養対策費 5,869千円（再掲）

(2) 多様な主体が参画したネットワークの強化 計画P52

本年度評価
概ね予定
どおり

本年度の 取組

- 「大阪府食育推進ネットワーク会議」において、各団体活動を活性化
 - ・SNS等による各団体が行う取組みのPR
おおさか食育通信Facebook「大阪府食育推進ネットワーク会議からのつぶやき」5団体12回
 - ・のぼりやファイル等の啓発媒体を活用し、参画団体等が主催する事業で食育啓発活用状況 のぼり延べ2団体、クリアファイル延べ3団体860枚
- 大阪府食育推進ネットワーク会議による食育イベントの開催
「健活ワクワク EXPO in OSAKA」第1弾 (R4.10.8)
会場 阪急百貨店うめだ本店9階うめだホール
参加企業・団体 8企業・7団体
参加者 約1,000名

今後の 取組予定

- 《課題》
- 大阪府食育推進ネットワーク会議の活性化
 - 企業等との連携強化
- 《次年度の主な取組み》
- 大阪府食育推進ネットワーク会議と連携し、食育を推進
 - ・食育イベントの開催
 - ・共通の啓発媒体を活用し、府及び各参画団体を実施するイベント等で食育啓発
 - ・SNSの活用による情報発信 等
 - 企業等との連携を強化
食育を府民運動として推進することに賛同する団体・企業等を増やし、連携事業を実施

最終予算 (主要事業)

健康・栄養対策費 5,869千円 (再掲)